

## 小麦「ゆめちから」は早播き<sup>ま</sup>しても成熟期は変わらない

小麦認定品種となった「ゆめちから」は、しょうゆ用やパン用小麦として期待されている。北海道で育成された品種であり、本県での品種特性は不明な部分が多かった。そこで、作期並びに冬季加温試験を行い、10月上旬から12月上旬に播種すれば、暖冬年においても6月下旬に成熟することを明らかにした。

### 内容

作期試験は2009年度から2011年度の3カ年、供試品種は「ゆめちから」(播性程度<sup>ま</sup>\*Ⅵ)、対照品種を「シロガネコムギ」(播性程度Ⅱ)とし、10月上旬から12月上旬まで、14日間隔で5作期でほ場に播種した。

冬季加温試験(2010年度)は、11月上旬にガラス室内(加温設定室温7℃)で、ワグネルポットに播種した後、1、2、3、4カ月後に同ポットごと露地ほ場へ転地し、管理した。

作期試験の結果から、出穂期については、「シロガネコムギ」は、播種時期が遅くなると遅れる傾向があるが、「ゆめちから」は、播種時期が10月上旬から11月上旬であれば、4月末とほぼ同じで、播種時期が11月下旬以降で遅れる傾向がみられた(表1)。

成熟期は、「シロガネコムギ」では、播種時期が10月上旬から11月上旬であれば6月上旬とほぼ同じで、11月下旬以降では、遅れる傾向があるが、「ゆめちから」の成熟期は、10月上旬から12月上旬までの播種時期であれば、いずれも6月中旬で

あった(表1)。

冬季加温(7℃)により「ゆめちから」の成熟期は、無加温区より約5日遅れるものの、加温処理期間にかかわらず6月下旬となり、大きな差がみられなかった(表2)。

以上のことから「シロガネコムギ」は播種時期に伴い出穂・成熟期が遅くなるが、「ゆめちから」では播種時期を10月に早めても出穂期、成熟期はほぼ一定と考えられる。また、「ゆめちから」の出穂・成熟期は、冬季加温処理期間の長短にも大きな影響を受けないことから最低気温が7℃以上となる暖冬年でも通常年同様の6月中下旬に収穫が可能と推察される。

### 普及上の注意事項及び今後の方針

「ゆめちから」は湿害に弱いので、10月中に排水対策を実施して播種することで安定生産につながる。現在、安定多収となる施肥方法について検討している。

宮脇 武弘(農産園芸部)

(問い合わせ先 電話:0790-47-2410)

表1 作期試験における播種日と出穂・成熟期(2009~2011年度)

品種		播種日				
		10月上旬	10月下旬	11月上旬	11月下旬	12月上旬
ゆめちから	出穂期	4.30	4.30	5.01	5.04	5.07
	成熟期	6.15	6.15	6.15	6.16	6.16
比)シロガネコムギ	出穂期	4.07	4.10	4.16	4.25	4.30
	成熟期	6.04	6.05	6.05	6.08	6.13

注)播種日:2009年度は10/10、10/25、11/9、11/24、12/9  
2010年度は10/13、10/27、11/9、11/24、12/10  
2011年度は10/20、10/27、11/9、11/25、12/13

\*: 播性程度(まきせいでいど)Ⅰ~Ⅵの分類があり数字が大きいくほど低温に長く当たらないと出穂しない。

表2 「ゆめちから」の冬季加温処理期間と出穂期、成熟期(2010年度)

	加温処理期間(加温処理終了月)				
	無加温 (11月)	1か月 (12月)	2か月 (1月)	3か月 (2月)	4か月 (3月)
出穂期	5.02	5.12	5.13	5.14	5.10
成熟期	6.15	6.19	6.20	6.21	6.22

注)加温温度:7℃、播種日:11/8